

地域を支える福祉拠点・施設のあり方を考える

—社会福祉法人の役割と重層的支援・介護人材確保について—

多様化、複雑化する現代の福祉課題について、それぞれの地域の日常生活圏域での個別ケースごとの伴走支援体制が求められています。また、併せて「認知症と向き合う幸齢社会実現会議」（令和5年12月）で報告されているように、地域ぐるみで支え合う体制づくりの構築が喫緊の課題となっています。これらの解決に向けて、2020年に「地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部改正」が行われ、重層的支援体制整備事業並びに社会福祉連携推進法人が制度化され、また、地域づくりにも関わる介護人材の確保についても外国人就労支援制度など新たな方向性が検討されています。

第46回地域包括ケア事業研究会では、朝川知昭厚生労働省社会・援護局長をお招きし、いま最も重要な課題となっている人材問題、重層的支援体制による地域づくり、そして社会福祉法人の役割などについてご講演いただきます。また、特別養護老人ホームなど福祉施設が地域づくりの拠点として期待されている中、老朽施設の建替問題への建設コストを含めた新たな提案についても学ぶ機会とさせていただきます。

地域包括ケア事業研究会
代表 山田 尋志

日時
場所

2024年

6月15日 土

研修会 15:30-17:30

懇親会 18:00-20:00

講演

講演1 「特別養護老人ホーム建替の課題解決への提案」

株式会社コスト代表取締役 中嶋一浩様

講演2 「地域づくりと社会福祉法人の役割について

—重層的支援、人材問題を考える—

厚生労働省社会・援護局長 朝川知昭様

会場

研修会 キャンパスプラザ京都 第1講義室

懇親会 がんこ京都駅ビル店

定員

会場 80名 オンライン80名

地域包括ケア事業研究会会員、行政、
介護、医療、福祉に関係する方々

参加費

| | |
|------------|--------|
| 一般 | 2,000円 |
| 研究会会員・専門委員 | 1,000円 |
| 懇親会 | 6,500円 |

下記Googleフォームよりお申込みください
<https://forms.gle/ithgKfF9CsX3gDPr8>

または、右のQRコードを
読み取り、お申込みください

〆切 6月10日(月)



主催

地域包括ケア事業研究会

お申込み
お問い合わせ

地域密着型総合ケアセンターきたおおじ内 事務局（村田）

FAX 075-366-3006 TEL075-366-8025

E-mail kita00ji@iaa.itkeeper.ne.jp

研修会スケジュール

講演1 15:30~16:00

「特別養護老人ホーム建替の課題解決への提案」

講師 株式会社コスト代表取締役 中嶋 一浩 様

講演2 16:10~17:30

「地域づくりと社会福祉法人の役割について

—重層的支援、人材問題を考える—

講師 厚生労働省社会・援護局長 朝川 知昭 様

会場へのアクセス

キャンパスプラザ京都

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939

京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR各線「京都駅」下車。徒歩5分。

がんこ京都駅ビル店

JR 京都駅 徒歩3分「京都駅ビル東ゾーン2階・京都劇場となり」

京都駅から105m

